

枕エコプロジェクト ポスターコンクール

環境問題・環境保全をテーマとしたポスターの制作過程を通じて小中学生の環境に関する意識の高揚を図るために、市内の小中学生から作品を広く募集しています。

応募総数220点の中から選ばれた大賞・準大賞の作品を部門ごとに紹介します。

また、受賞作品については11月14日(金)まで市役所内にて展示をしていますので、ぜひご覧ください。

■問合せ 市民生活課環境整備係 TEL76-1092

【低学年部門】



大賞
日高遥斗さん(桜山小2年)



準大賞
今給黎涼介さん(枕崎小3年)



準大賞
池崎惺さん(枕崎小2年)

【高学年部門】



大賞
森唯尊さん(立神小4年)



準大賞
中尾心春さん(別府小6年)



準大賞
森政宗さん(枕崎小6年)

【中学生部門】



大賞
崎村癒愛さん(桜山中3年)



準大賞
池田千咲さん(枕崎中2年)



準大賞
甲斐愛咲さん(枕崎中3年)

今月の担当は 赤池 隊員 です!

地域おこし協力隊スポーツ担当の赤池です!徐々に肌寒くなってきましたが、運動をするには最適な気候だと感じます。この機会にランニングを始めようかなと思っている今日この頃です!^_



▲10月4日のニュースポーツ体験会

地域おこし協力隊
活動レポート

協力隊 が行く!

第2回ニュースポーツ体験会

10月4日に2回目のニュースポーツ体験会を行いました。今回は、県が開催する秋「スポーツブラザ」のサテライト会場としてイベントを開催しました。また、当日は市民体力テストも同じ会場で開催していたため、体力テストに来ていた方にもニュースポーツを体験していただきました。用意したニュースポーツは「ボッチャ」「フロアカーリング」「モルック」「囲碁ボール」の4種目。スポーツ推進委員の皆さんにも協力してもらい、各ブースで種目のルール説明やゲームの審判など、運営と一緒に行いました。来られた方の中には4種目とも初体験の方が多かったのですが、どれも高度な技術は必要ないので、年齢性別関係なくそれぞれの種目を楽しんでいただけました。1番人気は前回と同様のモルックで、高齢者には特にボッチャが好評でした。この2種目は総合体育館に用具があるので、事前に連絡があれば貸し出すことも可能です。また、「イベントや施設、公民館などでニュースポーツ・パラスポーツをやりたい」「個人でやってみたいけど、用具のことやルールがわからない」など、要望やご相談があれば対応できるので、興味がある方は遠慮なく

スポーツ振興係までご連絡ください!
東京2025デフリンピック
今月15日、26日にかけて東京2025デフリンピックが開催されるので宣伝です!皆さん「デフリンピック」という大会をご存じでしょうか?デフリンピックは4年ごとに開催される、耳が聞こえない・聞こえにくい人のためのオリンピックです。意外と知られていないのですが、オリンピックのあとに開催されているパラリンピックには聴覚障害の区分がありません。デフスポーツの特徴は、意思疎通や状況判断において視覚からの情報を頼りにするため、手話やスタートランプ、旗などが使われます。今回の東京2025デフリンピックは100周年の大会、そして日本初開催になります。私個人としてはバスケットボールのボランティアに3日間参加します。実際にデフバスケットを見るのは初めてで、どのようにゲームを展開するのかとても楽しみです。競技の様子はYouTubeの大会公式チャンネルで配信予定なので気になった方はぜひチェックしてみてください!次の機会に大会の様子や実際に見た感想をお伝えできたらと思います。

市長

コラム

vol.79



風土

辞書を引くと「風土」とは、その土地の気候・地味・地勢などのありさま、と出てきます。風と土を書いて風土というだけに、自然を表す言葉であることはよくわかります。もう一つ、人間の文化の形成などに影響を及ぼす精神的な環境、とあります。この二つ目の文化の形成などに影響を及ぼす精神的な環境という「風土」について。

だれの言葉か思い出せないのですが、かなり以前に何かの書物で「風土とは、その共同体や組織であたりまえと考えられていることである」というような意味の文章に出会って、とても納得したことを記憶しています。この「その組織のあたりまえ」は私の考える風土の定義となっています。会社の雰囲気、学校の雰囲気、校風、というように組織や共同体の雰囲気をこのことを〇〇風と表しますが、それらは会社や学校で「あたりまえ」と考えられていることで構成されているわけです。しかし、この「あたりまえ」が人々の考え方や価値観が変わっていくことで少しずつ変化してきたり、時代の価値観と合わなくなってきたりして、その組織の風土が変化していくことがあります。つねに、良い方向に変化していけば良いのですが、ときに悪い方向に変化していくこともあります。職場の組織にしても、学校にしても、共同体の風土を維持・向上させていくためには、定期的に「あたりまえ」を振り返る必要があるのかもしれない。また、まちの風土についても同じだと思います。これまで「あたりまえ」と思われていたことが少しずつ変化して、まちの風土が変わっていく。常にいい方向に変わっていくように、まちの「あたりまえ」を検証する必要があります。

風土について考えることは「あたりまえ」を考えること。身の回りの「あたりまえ」について、いまいちど振り返ってみることも大切かもしれません。

○枕崎かつおランニングDay2026

令和8年1月25日(日)に枕崎かつおランニングDay2026を開催します。

今回、火の神ロードを利用した10km部門が復活します。

募集開始については、11月中旬を予定しています。詳細等決まり次第、広報紙やHPで周知しますので、今しばらくお待ちください。

●部門

こどんRUN(300m)【未就学児】

1km部門【小学1～4年生】

2km部門【小学5・6年生】

4km部門【中学生以上】

10km部門【高校生以上】



今年1月に開催された、枕崎かつおランニングDay

○南浜館休館のお知らせ

南浜館の大規模改修工事のため下記の期間、休館となっています。ご了承ください。

〈休館期間〉 令和8年3月末まで(予定)

スポーツ・文化 イベント情報

南浜館

開 9:00～17:00
※入館は16:30まで

休 毎週月曜日
※月曜日が祝祭日の場合は翌日

問 スポーツ・文化振興課
TEL72-9998